

'08.11

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工連合会
発行人 会長 木南岩男
神戸市中央区花隈町6の19
☎078(371)1261(代)〒650-0013
<http://www.shokoren.or.jp/>
編集人 岡田奈良夫
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 615 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



写真上：大砂社長（左から5人目）と大砂行政労務事務所スタッフ 写真左下：個別相談に応じる大砂社長

Contents

- 県連合会Letter 2～3頁
 - ・ 県青連ソフトボール大会
 - ・ 商工会Web活用研修会
 - ・ 金融担当者研修会
- 商工会Letter 4～5頁
 - ・ あなたのまちの元気な企業(宍粟市)
 - ・ わっくわくぶらり市開催(神河町)
 - ・ 県立大学学生のインターンシップ受入(養父市)
- 特集 6頁
 - ・ 地域力連携拠点支援事業(農商工連携)

「経営指導員」から
「事業主」への転身

オオスナグループ(大砂行政労務事務所) (宍粟市)

オオスナグループは、「大砂行政労務事務所」を核とし、人材派遣・人材紹介会社「株式会社アシスト」等のグループ会社から構成される企業。

代表者の大砂彰氏は、旧山崎町商工会の経営指導員。昭和六十三年、三十四歳で大砂行政労務事務所を開業し独立した。「世のため、人のため」を経営理念に地域貢献の意識も高く、現在では同事務所は、社会保険労務士・行政書士として兵庫県播磨地域随一の規模にまでなっている。

(関連記事・四頁)

県青連ソフトボール大会 加東市商工会青年部が優勝

九月二十九日、第四十三回県青連ソフトボール大会（主催…兵庫県商工会青年部連合会 主…丹波市商工会青年部）が丹波市氷上町「氷上総合グラウンド」にて開催された。

参加チームは十チーム。県下ブロックの代表八チームと、前回優勝の淡路市商工会青年部、そしてホストの丹波市商工会青年部であった。

当日は、石川憲幸県議会議員、辻 重五郎丹波市長をはじめ、多数の来賓を迎え、晴天に恵まれたこともあり、盛大な開催となった。

各試合とも、攻守に好プレーが続出し、県大会に対する意気込みが窺えた。

決勝戦には、加東市商工会青年部と篠山市商工会青年部が駒を進め、加東市商工会青年部が



▲賞状を受け取る加東市商工会青年部

優勝をかざった。

地域情報（事業所情報）発信と共有に向けて ～商工会WEB活用研修会～

県連合会は九月五日、神戸市・神戸産業振興センターにおいて「商工会WEB活用研修会」を開催し、二十八名が参加した。

本研修会の目的は、ホームページを活用した商工会の情報発信の取り組みの支援。今回は、県連合会においても普及推進していくシステム「SHIFIT」の習得を目指したものである。

「SHIFIT」は、会員事業所がWEB登録した情報が、商工

会HP↓県連合会HP↓全国連の「100万会員ネットワーク」HPへとそれぞれ自動的に更新されるもので、情報発信力の強化が期待できる。

当日は、まず、長崎県連・三浦氏より「ITを利用した会員サービス」の説明があった。同県連は、事業所情報発信はもちろん、ITを利用したコミュニケーションを図っており、先進事例として、参加者は皆熱心

に聞き入っていた。

その後、(株)地域振興総合研究所の坂木氏により、「100万会員ネットワーク」の成功事例を取り入れつつ、同システムの概要説明及び実機演習が行われた。

商工会員が「自社のPRの場」、「販売促進」、「電子広告」として同システムを利用し、また、100万会員ネットワークをはじめとする会員支援ツールが経営サポートや経営改善の情報収集の場として利用されることを期待している。

全国技能グランプリ・兵庫 開催!

平成21年3月、全国の熟練技能士が技の日本一を競い合う大会「全国技能グランプリ・兵庫」が、神戸国際展示場をメイン会場として、開催されます。

日本一の技を競うだけでなく、併催イベントでは、親子でご参加いただけるものづくり体験などでお楽しみいただけます。

ぜひ会場へお越しください!

【会 期】平成21年3月20日～3月23日

3月21日・22日 競技会・表彰イベント
20日 開会式、23日 表彰式

【会 場】神戸国際展示場、ワールド記念ホール
県立神戸高等技術専門学院

【職種数】婦人服製作、畳製作、機械組立て、日本料理など31職種(予定)

◆問い合わせ: 全国技能グランプリ・兵庫 推進協議会事務局
(兵庫県能力開発課内)
電話 078-341-7711 (内線 3723, 3724, 3725)



主な行事予定

22日(月)
理事会

12月のこよみ

27日(木)
商工会全国大会
(東京都)

21日(金)
講習会(太子町)
県青連第2回幹部

15日(土)～16日(日)
商工会等職員昇格試験
(神戸市・朝来市)

13日(木)～14日(金)
経営革新支援研修会
(丹波市)

12日(水)
部講習会(神戸市)

7日(金)
監事会(神戸市)

11月のこよみ



始めませんか ～新しい環境貢献～

ひょうご「企業の森づくり」

環境への貢献のため、森林整備をお考えの企業や団体等の皆様のお手伝いをします。

- 活動フィールドの斡旋
- 森林整備についての助言・提案・技術指導
- 施業委託先の紹介

◆お問い合わせは◆

(社)兵庫県緑化推進協会

〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5-5-18 県林業会館内
TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4071

兵庫県農政環境部 環境創造局 豊かな森づくり課

〒650-8567
神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL 078-362-3144 / FAX 078-362-3954

住友生命

貯めて、使える。

保険を超える保険

LIVE ONE

| スミセイ総合生活口座 | ライブワン |

第7回「すきっぷ21ーみんなの子育て」フォトコンテスト

親子のふれあいや、子育てをテーマにした写真を広く募集します。

応募規定 カラープリント2Lサイズ(127mm×178mm)又はキャビネ判(130mm×180mm)

応募票に住所、氏名、年齢、電話番号、コメント(50字以内)を明記し、作品裏に貼付。

応募点数1人1点、自作未発表作品に限ります。

賞

最優秀賞	1点	賞状、旅行券(5万円)
優秀賞	3点	賞状、旅行券(3万円)
サンテレビ賞	1点	賞状、賞品
ラジオ関西賞	1点	賞状、賞品
兵庫県商工会連合会特別賞	1点	賞状、賞品

ほか、特別賞 2点や佳作として記念品が贈られます。

発表 神戸新聞紙上(1月下旬予定)で発表し、入賞者のみ直接通知します。

締切 平成20年12月19日(金)必着

お問い合わせ・応募先

〒650-8571 神戸新聞社地域活動局
「すきっぷ21ーみんなの子育てフォトコンテスト」係
☎078-362-7052

主催 神戸新聞社

後援 「すきっぷ21ーみんなの子育て」支援会議

協賛 デュオこうべ、兵庫県商工会連合会

ひょうご出会いサポート事業 こうのとり会事業 会員募集

～素敵な出会いがあればそろそろ結婚を…と考えている方を応援します～

ひょうご出会いサポート事業 協賛団体・会員団体・準会員にご登録ください

少子化の大きな要因の一つである「晩婚化・未婚化の進行」に対する取り組みとして、社会全体で結婚を応援するため、企業や地域団体等の協力を得て、独身男女が交流する「出会いの場」を開催しています。

◆**協賛団体**: 独身の男性、女性が交流できる「出会いの場」のイベントを企画実施していただく県内のホテル、レストラン、地域団体など。

◆**会員団体**: 県内の企業、団体、自治体など。独身社員等の方にイベントに参加していただきます。

◆**準会員(個人会員)**: 勤務している企業、団体などが会員団体に未加入の方や個人事業者の方など。

こうのとり会事業 会にご入会ください

県内の調和ある発展をめざし、農山漁村部の男性と都市部等の女性が交流する「出会いの場」を開催するとともに、農山漁村部の豊かな自然環境のなかでの新しいライフスタイルづくりを支援します。

◆**会員(個人会員)**: 日本在住の人。但し、男性は兵庫県内の農山漁村部にお住まいの人。(農山漁村部～北播磨・但馬・丹波・淡路地域の全域と中播磨・西播磨地域の一部)

■お問い合わせ■ ひょうご出会いサポートセンター((財)兵庫県青少年本部内)
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館8F
Tel 078-891-7415 Fax 078-891-7418 e-mail:hyogo.deai@seishonen.or.jp
http://www.seishonen.or.jp/deai/deai.html



県連合会は、九月十七日(水)、パレス神戸において金融担当者の研修会を開催、県下商工会から四十一名が参加した。

この研修会は、近年、中小企業の経営環境が厳しさを増し、小規模事業者経営改善資金貸付制度(以下「マル経融資」)の申込件数が減少するなか、同融資の取り扱い経験の浅い職員が、同融資の利用により金融指導ができることを目的として行われた。

講師に国民生活金融公庫六支店(神戸、神戸東、尼崎、明石、姫路、豊岡)の融資課長を招き、マル経融資制度の概要、同融資の制度改正等の概要、融資推薦書・推薦付属書の記入及び検討ポイントの説明のあと、事例研修が行われた。

推薦書・推薦付属書の記入や事例を中心に実践に則して行われた本研修は経験の浅い職員にも、「商工会に戻って前向きに融資推薦に取り組みそう」といった好感度の意見が多数聞かれた。

- ◆ 九月十一日 近畿ブロック商工会青年部交流研修会
- ◆ 九月十六日～十七日 近畿ブロック商工会女性部交流研修会
- ◆ 九月十九日 第二回商工会職員県連帰属化検討問題委員会
- ◆ 九月二十五日～二十六日 マル経講習会(篠山市)
- ◆ 九月二十八日 パソコン財務会計主任者試験
- ◆ 九月二十九日 第二回事業委員会

短信

一中小企業と共に45年一

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号(県立産業会館内)

☎ 078-361-8080(代) Fax 078-371-6757

ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩んでいく、
地域金融機関です。



イベントキャラクター「ホッビー」

ご融資の相談は

お気軽に「けんしん」へ

■詳しくは窓口へおたずね下さい。



いまでも これからも いつまでも
兵庫県信用組合

〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-4-17
TEL 078-391-6315
http://www.hyogokenshin.co.jp/



あなたのまちの元気な企業④ オオスナグループ（大砂行政労務事務所）

（六栗市）

オオスナグループは、「大砂行政労務事務所」と「労働保険事務組合近畿商工センター」、人材派遣・人材紹介会社「株式会社アシスト」と「株式会社アシストビジネスパートナー」から構成されている。

旧山崎町商工会の経営指導員であった代表者・大砂彰氏が、「親孝行がしたい、妻子を借家住まいから脱出させたい」との思いから独立開業したのが昭和六十三年一月八日。三十四歳の時であった。

それから二十年、現在では、大砂行政労務事務所は職員数十六名、アシストは三営業所（六栗市・福崎町・加東市）に管理社員十四名、派遣社員二〇七名を擁するまでに成長している。

それから二十年、現在では、大砂行政労務事務所は職員数十六名、アシストは三営業所（六栗市・福崎町・加東市）に管理社員十四名、派遣社員二〇七名を擁するまでに成長している。

それから二十年、現在では、大砂行政労務事務所は職員数十六名、アシストは三営業所（六栗市・福崎町・加東市）に管理社員十四名、派遣社員二〇七名を擁するまでに成長している。

経営理念

事務所指針

素直・プラス発想・勉強好き

経営理念

「世のため、人のためになれるよう人格を磨き、人の喜びを喜びと思える人生観を育み、



▲セミナーで講演を行う大砂氏

現在の取り組みと強み、自信

オオスナグループは豊富な知識と情報収集力を活かし、毎月定期的にお役立ち情報を四紙・四部門に分け、取引先企業に提供している。

また、年に数回開催する大砂行政労務事務所主催のセミナーは、有料にもかかわらず、毎回定員を上回る申込みがある。神戸新聞、産経新聞、日刊工業新

顧客の信頼を得て、近畿ナンバー一事務所をめざします」
社是
感謝・謙虚・奉仕

聞等に記事掲載もされ、大きな反響を呼んでいる。

アシストは、地域密着型の派遣会社として常にお客様（企業）、派遣社員の立場を考え、採用におけるマッチングを重視した事業を展開。派遣社員が正規雇用されることを目指すなど、地域貢献への意識も高い。

また、オオスナグループの特徴として、経験のマニユアル化があげられる。その成果の一つとして開発された、人材マッチングシステム「ジャストフィッター」（人材紹介の判断システム及び判断支援プログラム）は、平成二十年八月に特許を取得している。

今後の方向性

オオスナグループは毎年一月に「事業計画発表会」を開催し、社員とベクトルを合わせた目標を設定、社員一丸となって取り組んでいる。

大砂社長は言う。

「企業を成功させる人は一人倍の努力を積み、そして感謝の気持ちを持ち、謙虚である。だから成功ができる。」

しかし、仕事で成功を収め、地位や名声、財産を獲得したために、努力を怠り、謙虚さ・感



▲(株)アシストスタッフの皆さん

謝を忘れた企業は倒産している。成功するためには、感謝・謙虚・奉仕の気持ちを持ち続け、努力が続けられるかどうかが重要である。」

商工会に期待すること

大砂社長は、旧山崎町商工会に十年間勤務し、経営者としての原点は商工会で学んだ事だという。

独立開業に際し、旧山崎町商工会会長で、県連合会の元会長であった（故）壺阪壽氏より賜った「小さくても立派な会社を作りたいなさい」という言葉が、今の

大砂社長の精神となっている。

また、社長はこう言う。
「私の経験から、商工会職員は立派に経営者を導くことができ、

また、商工会役員は経営哲学を語ることで、混乱している商工会員を救うことができると信じています。

商工会職員は、経験と知識を活かし、自信を持って会員企業の支援にあたって欲しいと思います」

企業概要

- ①企業名 オオスナグループ
大砂行政労務事務所・労働保険事務組合 近畿商工センター
株式会社アシスト・株式会社アシストビジネスパートナー
- ②代表者名 大砂 彰
- ③住所 兵庫県六栗市山崎町三津4 6 5番地2
- ④電話 0790-62-1772(代) FAX 0790-62-5843
- ⑤URL <http://oosuna-group.jp>
- ⑥資本金 グループ総資本金 7030万円
- ⑦創業年 大砂行政労務事務所(昭和63年) 株式会社アシスト(平成10年)
- ⑧従業員数 大砂行政労務事務所 16名 アシスト管理社員 14名
派遣者社員 207名
- ⑨商工会員歴 六栗市商工会 20年9ヶ月 福崎町商工会 3年
加東市商工会 1年

学生の目線から事業提案

～養父市商工会～

養父市商工会（神田武会長）では、九月十六～二十日の五日間、市内会員事業所六社の協力を得て、兵庫県立大学経営学部学生のインターシップを行った。

これは、今年度で四年目を迎える兵庫県立大学経営学部との事業連携の一環として行われたもので、参加者は事業創造学科の二回生二十名。

このインターシップの特徴は「双方向性」。学生の単なる「就業体験」だけではなく、企業にもメリットがある。学生は現場

の第一線で就業体験を積み、一方従業員との交流やお客様アンケート調査等を行い、外部の目線から、経営者が気付かない課題や問題を拾い出す。そしてインターシップ最終日の中間報告会で、経営者に改善策やビジネスプランを提案する。

報告会では、若者の斬新な感性による改善策等が提案された。提案を受けた企業の担当者からは、与えられた短い時間の中で、様々な意見や提案があったことに対し、感謝の意が述べられた。今回の中間報告書は大学へ持



▲経営者と意見交換をする学生たち

11月は適正計量を推進する月間です

食料品製造・販売業の皆様、
商品の内容量表示を今一度お確かめ下さい。

商品に、正しく計量された内容量が表示されていますか？
食品の表示は、消費者が商品を選択する上でなくてはならないものです。
消費者が安心して買い物が出来るよう、正しい計量に努めてください。

内容量不足の主な原因

1. 風袋引きのミス
2. 自然減量への対策不足(野菜類の乾燥など)
3. たれ等の添え物込み計量



兵庫県産業労働部産業政策局工業振興課 (電話 078-362-3344)

秋の青空の下、「わくわくぶらり市」開催

～神河町商工会～

神河町商工会（谷総忍孝会長）は、九月二十八日、寺前商店街界隈において「第十四回わくわくぶらり市」を開催した。

寺前小学校児童のダンス「キセキ」と、太鼓保存会や津軽三味線グループの演奏がオープニングを飾り、高橋修委員長と谷総会長の開会挨拶の後、賑やかに祭りが始まった。

会場では、会員商店の大売出

しや香美町海産物即売等、内外からの参加者によるフリーマーケットやバザーが並んだ。また、人気の「とんぼ道中」が本年度は三体出演、そのコミカルさには会場は笑いの渦に包みこまれた。「かもレース」では会場一体となつて一着二着を予想。また、初めての試みである神戸サンバチームによるパレードにも大歓声が上がるなど、大変な賑わい

を見た。

特に、昨年度より実施している「銀の馬車道リレーイベント」では、水車で有名な「神河町」PRのため、「水車と歴史めぐり」と題し、青年部引率のもと、クイズを楽しみながらのウォーキングを実施。参加者は自然とふれあいながら田舎の秋を満喫した。

本年四月に合併し誕生した神河町商工会。新たな気持ちで取り組んだイベントであったが、天候にも恵まれ、大成功となつ



▲会場を盛り上げる「とんぼ道中」

◆ ◆ ◆ 県内商工会イベント案内 ◆ ◆ ◆

イベント名	開催日	概要	問合せ先
第14回 太子あすかふるさとまつり	11月3日(月・祝)	斑鳩寺からの時代パレード、漫才ショー、大道芸、フリーマーケットなど盛り沢山で、毎年多くの来場者で賑わいます。	太子あすかふるさとまつり実行委員会 TEL 079-277-2566 (太子町商工会内)

基本方針

主務大臣（農林水産大臣、経済産業大臣等）が、**農商工等連携事業・支援事業の認定基準等**を策定

申請
↓
認定

農商工等連携事業計画

目的：中小企業者の経営の向上及び農林漁業者の経営の改善

中小企業者（商工業者に限る）と農林漁業者が共同で新商品の開発等に取り組む事業計画を作成

支援措置

- 中小企業信用保険法の特例
- 小規模企業者等設備導入資金助成法の特例
- 食品流通構造改善促進機構の債務保証
- 農業改良資金助成法等に基き支援措置づく貸付対象を中小企業者へ拡大。償還期間・据置期間を延長。
- 設備投資減税制度の創設（7%の税額控除又は30%の特別償却）
- 中小企業者に対する低利融資制度の創設（中小公庫・日本政策金融公庫）

申請
↓
認定

農商工等連携支援事業計画

目的：中小企業者と農林漁業者との交流機会の提供、中小企業者又は農林漁業者に対する農商工等連携事業に関する指導、助言、その他の中小企業者と農林漁業者との有機的連携の支援

公益法人又はNPOが、農商工等連携事業に取り組む事業者等に対する指導・助言等の支援を行う計画を作成

支援措置

- 中小企業信用保険法の特例（事業計画の認定を受けた公益法人又は特定非営利活動法人は、中小企業信用保険の対象になる。）

特集・地域力連携拠点支援事業
新事業「農商工連携」
がスタート

「異分野連携」による地域活性化施策が始動。経済産業省と農林水産省が双方の強みを活かしながら、相乗効果を発揮する「農商工連携」と施策が本年度動きだした。例えば、重労働と言われる農業の省力化を新たな

設備を導入することで回り、商品が売れる道筋をつくる。地域を活性化し、日本の成長力を加速する手だてとして注目が集まる。また、経済産業省が中小企業向けに展開してきた施策を、農業従事者にも使えるようにするなど、それぞれの得意分野を持ち寄りながら、新たなサービス、新たな商品を次々生み出そうとしている。

◆農商工連携のねらい

平成二十年五月、農商工等連携関連二法「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動促進に関する法律（農商工等連携促進法）」、「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律（一部を改正する法律（企業立地促進法改正法）」が成立した。中小企業者と農林漁業者が連携し、相互の経営資源を活用して、事業者にとって新商品や新サービスを生み出すこと。工夫を凝らした取り組みを展開することで、それぞれにとって経営改善が見込まれる。

これまで、異分野連携は「地域活性化の切り札」として注目され、施策として実行されてきた。平成一七年度の目玉施策「新連携支援」は分野の異なる事業者同士が手を組み、新事業を生み出す仕組み。平成一九年度に始動した「地域資源活用プログラム」ではあらためて地域を見直し、またデザイナーなどプロの力も借りながら、新たな事業を生み出す仕組み。すでに新連携、地域資源活用とも新商品開発による売り上げ実績が着実に始めている。そして農業とタッグを組んだ今回の施策が、異分野連携の第三弾となる。

◆なぜ今「農商工連携」なのか
少子高齢社会で日本の成長力を持続するためにできることは何か。「日本の中小施策は世界一」と言われ、日本の中小企業施策は世界にも類を見ないほど充実している。「施策を使い倒す」（甘利明前経産相）という言葉にあるように、これまで作り上げてきた施策を十分に活用し、中小企業と農林漁業者向けの施策を共有することで、新たな展開が拓ける可能性がある。具体的に取り組むとして地域産品の販売を促進したり、地域産品の輸出を強化したりするなどの取り組みが、すでに始まっている。

◆兵庫県における農商工連携認定第一号
豊岡市の「コウノトリ育む農法」による米粉を用いた食品の開発・製造・販売（中小企業者・丸萬中源株式会社、農林漁業者・たじま農業協同組合）

基本的要件

1. 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携して実施する事業であること

「有機的に連携して実施する」とは、それぞれが、相手方は保有していないが自らは保有する経営資源を互いに持ち寄り、連携事業期間を通じて、両者いずれもが主体的に参画すること

2. それぞれの経営資源を有効に活用すること

「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的に示されていることが必要

3. 新商品・新役務の開発、生産・提供又は需要の開拓を行うものであること

4. 計画期間は、原則5年以内とする

5. 経営の向上・改善は、中小企業の経営の向上かつ農林漁業者の農林漁業経営の改善が実現すること

中小企業者及び農林漁業者いずれも付加価値額が5年で5%以上向上すること

中小企業者は総売上高が5年で5%以上増加する見込みであること、農林漁業者は農商工等連携事業に係る農産物等の売上高が5年で5%以上増加すること

応援コーディネーター紹介

河野 勝利

このかつとし

【主な資格】

中小企業診断士、ISO9001、14001 審査員補

【担当地域】

丹波・阪神



【所属機関】

（株）グリーン経営コンサルティング

【会員企業へのメッセージ】

地域の活性化が期待されて久しい年月がたちます。後退局面に入った日本経済。それ以前から地域は疲弊しています。私の7年間に及ぶ中小企業への経営革新、創業、業務改善などの経験を活かして、各地の商工会と連携をとり地域の中小企業が元気になるように努めたいと思います。会員の皆さん、どんどんご相談ください。

（※丹波・阪神地域担当の稲上応援コーディネーターが退任されたため10月1日から後任として着任）